

企画提案仕様書

(平成29年度「ステーション・コーディネーター」育成支援等事業)

I 趣旨

府民協働防犯ステーション（以下「ステーション」という。）における自律的・継続的な地域防犯活動をリードできる人材（ステーション・コーディネーター。以下「コーディネーター」という。）の育成支援やステーション間の広域ネットワーク会議を実施し、もって府全域の地域防犯力の向上に資するものとする。

II 事業内容

1 コーディネーター育成支援

(1) 実施場所（対象とするステーション）

京都府が実施している「地域の安心・安全「絆」づくり推進事業」等により、活動が活発化したステーションのうちから10箇所を対象とする。

実施場所については北部会場、南部会場の2箇所とする。

なお、対象ステーションは京都府と協議して選定するものとし、業務の実施に当たっては、京都府は受託者に「地域の安心・安全「絆」づくり推進事業」の実績等の必要な情報を提供することとする。

(2) 育成人数

受託者は、対象ステーションごとに2名程度のコーディネーターの育成支援を行うこと。

(3) 育成支援の方法

① ステーション勉強会、入門講座等

受託者は、コーディネーターに向けて、防犯やまちづくり等の専門的知見を有する学識経験者等を交え、ステーションの活動状況や地域課題等について情報交換・意見交換を行うための勉強会を北部会場、南部会場それぞれ4回程度開催すること。

また、受託者は、コーディネーターがステーション活動をリードする上で必要となる合意形成能力やワークショップの実施方法等のスキルを習得させるため、個々のコーディネーターの必要に応じ、人材育成セミナー等の外部講座に参加させること

② 課題抽出及び活動計画の実践

受託者は、勉強会を通じてコーディネーターが中心となって実施する地域課題の抽出と、課題解決に向けた目標設定及び活動計画策定を支援すること。

また、受託者は、コーディネーターに対し、活動計画の実践に当たり活動現場において必要な支援を行うこと。

2 ステーション広域ネットワーク会議の開催

受託者は、コーディネーターの活動の円滑な促進に向けたステーション間の連携を実現するため、警察署単位で住民・企業・警察・行政等さまざまな主体が参画する広域ネットワーク会議を開催すること。

なお、京都府と協議して対象警察署3警察署を選定して会議を各2回実施するとともに、前年度実施警察署3警察署にて会議を各1回実施するものとする。

前年度実施警察署での実施にあたり、京都府は受託者に前年度の会議結果等の必要な情報を提供することとする。